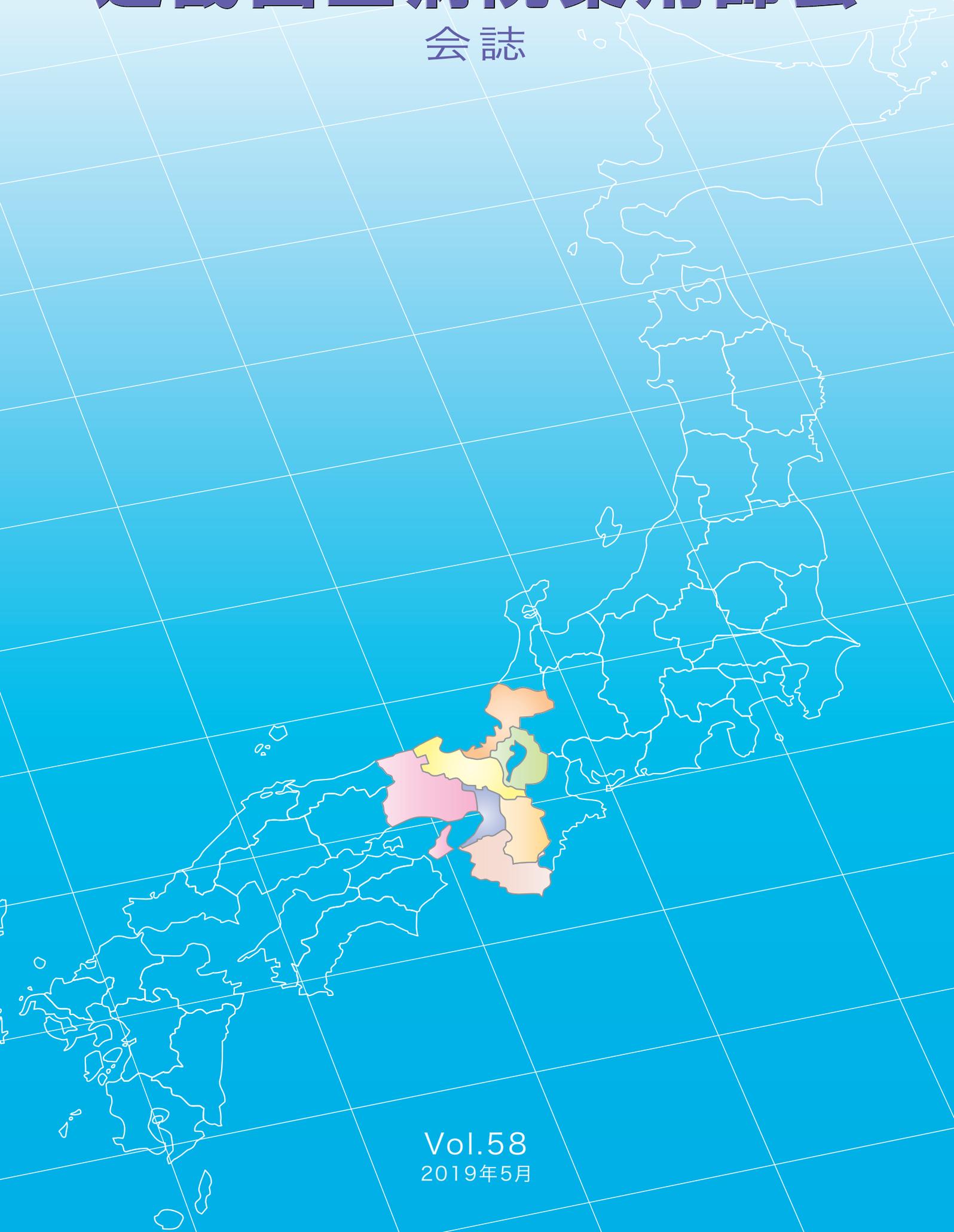


近畿国立病院薬剤師会

会誌



Vol.58
2019年5月

目 次

提言.....	2
	奈良医療センター 川端 一功
薬剤部紹介.....	3
	南京都病院 木原 理絵
m3.com 薬剤師コラム掲載について.....	5
平成 31 年度近畿国立病院薬剤師会学術大会 学術集会報告.....	6
	舞鶴医療センター 中澤 誉
平成 31 年度 新採用職員(コ・メディカル部門)研修に参加して.....	8
	大阪刀根山医療センター 西田 神奈
新採用者紹介.....	10
趣味のページ ～あわらは福井の北海道～.....	15
	敦賀医療センター 山本 友佳子
編集後記.....	16

提言 ～常識？非常識？～

奈良医療センター 川端 一功

4月に薬剤部長を拝命し、令和となって初の提言をさせていただくことを光栄に思います。病院薬剤師となっちはや33年となりますが、非常勤薬剤師から一般薬剤師に採用されたのが丁度平成元年で、当時の集談会誌に新人薬剤師として同じタイトルで寄稿させていただいたことを思い出しました。

私自身人一倍常識にとらわれやすい思考経路を持っている反動もあって、内容としては「世界中にはいろいろな常識があり、自分の常識が常に正しいとは限らないので、常に非常識な視点を併せ持って常識の殻を破っていきたい」みたいなことを臆面もなく書かせていただいたと記憶しています。

その頃の病院薬剤師は現在の若い先生方が想像する以上にマイノリティで、病院内のみならず社会においてもその存在感はあまりに薄く、悔しい思いも数多く経験しました。

そのため、如何にして患者(社会)から評価され、スタッフから信頼され、そして経営者から認められるかを求めて日々悪戦苦闘してまいりました。

それから30年余りで、薬剤師の仕事のみならず、医療を取り巻く環境も大きく変貌し、実際に高度先進医療を行う現場では、薬剤師が安全な治療の継続に不可欠であり、地域医療の現場では薬剤師がシームレスな薬物療法の中心的存在になりつつあります。

また最近では働き方改革やAIの台頭などにより、医療界はますますボーダーレス化の様相を呈してきており、我々薬剤師も今後より一層の変化が求められるのは想像に難くないところです。

これは、ひょっとして10年に一度、いや、100年に一度のチャンスかもしれません！

近畿国立病院薬剤師会の皆様が、これまでに培ってきた実力と、熱い情熱をもって、10年・20年先を見据えた薬剤師業務を展開されることを期待し、微力ながら精いっぱい後押しさせていただきたいと思います。

薬剤部紹介



National Hospital Organization Minami Kyoto Hospital

【病院概要】

- ・病床数:300床(一般病棟:160床、重心病棟:120床、結核病棟:20床)
- ・診療科:呼吸器科、小児科、脳神経内科、循環器科、消化器外科、整形外科
放射線科、リハビリテーション科
- ・病院の基本理念
私たちは、分かりやすく安全で、安心して受けられる、質の高い医療を提供します。



南京都病院は京都府の南部、城陽市にあり、周辺には名勝地として有名な「青谷梅林」が広がり、春になると一万本の薫り高い梅花が咲き誇る自然豊かな地です。

当院は政策医療に基づき、旧国立療養所時代から京都府の拠点施設である結核診療をはじめ、肺癌、喘息、COPD等の呼吸器疾患、パーキンソン病やALS等の神経難病、重症心身障害並びに一般疾患の診断と治療を主体とした診療機能を持ち、専門性を生かした高度医療の充実を図っています。中心診療科である呼吸器科、脳神経内科、小児科では、「睡眠時無呼吸症候群」「認知症」「小児アレルギー」の専門外来を設置するなど、特色のある診療が行われています。また、小児慢性疾患、重症心身障害児の療育については、京都府立城陽支援学校と協働し、子供の心と体の両面からサポートする体制が構築されています。さらに、通信事業所「しらうめ」の運用を通じて、神経難病、重症心身障害、在宅酸素・慢性呼吸不全などで在宅療養されている患者さんの短期入所受け入れを行うなど、地域の障害者支援の中心的役割を担っています。



【薬剤部紹介】

現在薬剤部は、薬剤部長、副薬剤部長、主任 2 名（調剤主任、薬務主任）、薬剤師 4 名の 8 名で構成されています。2018 年 1 月の外来診療棟新設に伴い、薬剤部も清潔でゆとりある空間に生まれ変わり、大変心地よい環境の中業務を行っています。

重症心身障害、神経難病患者への調剤業務は、計数調剤はわずかで、大半は散薬、一包化調剤が必要です。さらに簡易懸濁の指示がある場合は、配合変化に配慮した上で分包調剤を行うなど複雑な業務を行っています。

製剤業務では、長期経腸栄養剤使用によるセレン欠乏症の予防としてセレン内用液を調製し対応していましたが、病棟での与薬管理を効率化するため、セレン口腔内崩壊錠を作製し運用を開始しています。

病棟業務では、AST・ICT、NST・褥瘡、緩和ケアチームのほか、呼吸器ケアリハビリテーションカンファレンス、DOTS（結核患者に対する直接服薬確認療法）カンファレンスなどチームケアによる吸入・服薬支援についても積極的に参画しています。

今後さらに、多職種や院外薬局との連携を強化し、服薬指導の標準化、充実化を図るべく様々な取り組みを行っていきます。

（文責：木原 理絵）



m3.com 薬剤師コラム掲載について

平成30年度の近畿国立病院薬剤師会シンポジウムについて、チーム医療委員会の監修のもとm3.com内の薬剤師コラムに掲載されています。今後もシリーズとして順次掲載される予定ですので、是非ご覧ください。

m3.com トップ → 薬剤師コラム・特集 → 薬剤師が知っておきたい!内科疾患の事例検討

https://pharmacist.m3.com/column/case_study



薬剤師コラム・特集

薬剤師の日常業務やスキルアップに役立つ情報をまとめました。

薬剤師が知っておきたい!内科疾患の事例検討

治療、副作用マネジメント、チーム医療での薬剤師の関わりについて、様々な疾患を検討する連載コラムです。

- 糖尿病治療における薬物療法以外の治療への理解：症例と疑問
- 糖尿病のリスク要因への理解：症例と疑問
- 糖尿病への理解：症例と疑問

もっと読む

薬剤師が知っておきたい!内科疾患の事例検討

いいね! 0 | いいね

シリーズ1

糖尿病への理解

チーム医療の実践に関する知識を修得することで、臨床薬剤師の資質向上を目指します。事例検討を通して、治療、副作用マネジメント、チーム医療での薬剤師の関わりについて、様々な疾患を検討する連載コラムです。示された患者情報から後に続くQuestionを考えてみましょう。

START!

まずは【症例】を確認してください

【症例】
 70歳女性
 身長： 160cm
 体重： 79.2kg
 治療病名： 糖尿病（網膜症・末梢神経障害（Ⅱ期）合併）高血圧、大腸癌（大腸内視鏡検査の結果、直腸に腫瘍を認め、腰椎・肺への転移、疼痛あり。FOLFOX療法開始100%dose、2クール目からFOLFOX+BV、2次治療FOLFIRI療法）腎盂腎炎、左水腎症による腎機能異常（左尿管ステント留置）

もっと見る

question

糖尿病への理解を深めていただくために、以下のQuestionにチャレンジしてみましょう。

【症例】追加情報

糖尿病の教育評価

- 糖尿病全般についての理解度：不十分
- インスリン・血糖測定手技指導の経過：自立
- 食事療法上の問題点：間食間色、炭水化物が多い
- 運動療法上の問題点：退院後は活動量upが予想されるため、食事、インスリンへの配慮

閉じる

項目	単位	朝食前	朝食2時間後
血糖	mg/dL	193	250
CPR	ng/mL	2.24	3.05
IRI	μU/mL	5.4	10.2
HOMA-R		2.57	
HOMR-β		14.95%	
抗GAD抗体		(-)	
血圧	mmHg	157/62	

Date	血糖値推移 (mg/dL)				体重 (kg)	歩数 (歩)	インスリン単位 (単位)			
	朝	昼	夕	眼前			朝	昼	夕	眼前
-3日	96	232	208	183	77.8	3366	20	6	16	ヒューマログミナリ250
-2日	177	158	181	177	77.2	4339	20	6	16	
-1日	210	258	110	189	76.8	3525	20	6	16	

平成 31 年度 近畿国立病院薬剤師会学術大会 学術集会報告

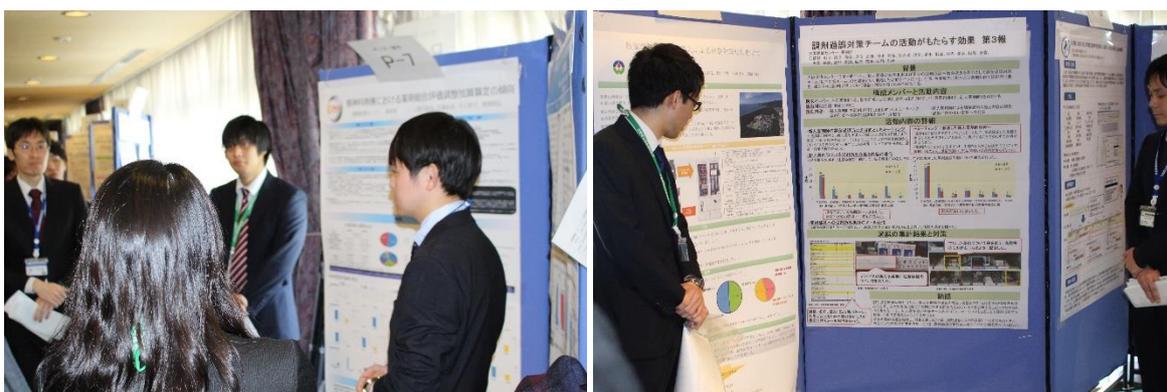
舞鶴医療センター 中澤 誉

平成 31 年 3 月 2 日に生田神社会館にて学術集会が開催され、11 演題のポスター発表と 5 演題の口頭発表が行われました。「精神科病棟における薬剤総合評価調整加算算定の傾向」が優秀賞、「免疫チェックポイント阻害剤による免疫関連有害事象に対する当院の取り組み」が特別賞を受賞いたしました。

他の演題に関しても発表内容から各自施設の特色や取り組みについて知ることができ、非常に有意義な学術集会となりました。

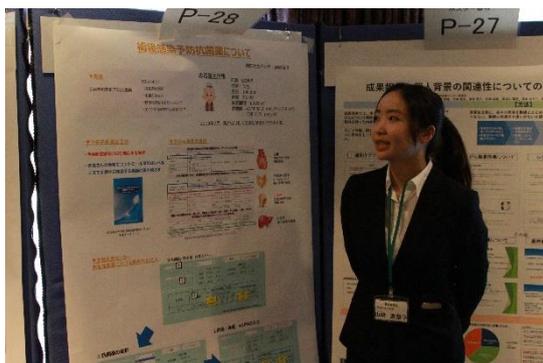
<ポスター発表>

1. 「散薬調剤ロボット導入による業務効率化にむけて」
和歌山病院 辻合 美智子
2. 「調剤過誤対策チームの活動がもたらす効果 第 3 報」
大阪医療センター 苗村 彰浩
3. 「当院における化学療法副作用管理パス導入への取り組みと症例報告」
東近江総合医療センター 高屋 麻由
4. 「重症心身障害児(者)のカルニチン欠乏症について臨床指標の模索」
兵庫あおの病院 堀田 優衣
5. 「当院におけるプレアボイド事例収集をとおして ～腎機能による薬剤適正使用の推進～」
神戸医療センター 川上 智広



6. 「レナリドミド・デキサメタゾン併用療法における薬剤管理と副作用発現状況についての検討」
大阪南医療センター 山口 真実
7. 「精神科病棟における薬剤総合評価調整加算算定の傾向」
舞鶴医療センター 黒川 拓也

8. 「入院時におけるベンゾジアゼピン受容体作動性睡眠薬持込制限の効果と問題点」
大阪南医療センター 白崎 佑磨
9. 「免疫チェックポイント阻害剤による免疫関連有害事象に対する当院の取り組み」
神戸医療センター 綿榎 充穂
10. 「オキシコドンで疼痛緩和治療中の患者にリファンピシンで結核化学治療を行った1例」
兵庫中央病院 高島 実希
11. 「京都南部地域連携交流会でのアンケート調査と今後の課題」
京都医療センター 藤本 佳奈



<口頭発表>

1. 「BPM に対応した回復期リハビリテーション病棟における処方代行入力業務拡大後の評価」
宇多野病院 田中 綾
2. 「臨床検査値の活用セミナーを企画して ～受講者へのアンケート調査から見てきた事と、今後の展望～」
姫路医療センター 溝口 捺美
3. 「地域包括ケアシステムにおける薬剤師の取り組み」
舞鶴医療センター 石野 佑樹
4. 「当院におけるデラマニドの薬薬連携の現状について」
近畿中央呼吸器センター 上柳 汐果
5. 「新システム導入に伴うがん化学療法レジメン運用の現状と今後の課題について」
南京都病院 大橋 香菜子



平成 31 年度 新採用職員(コ・メディカル部門)研修に参加して

大阪刀根山医療センター 西田 神奈

4 月 17 日から 19 日までの 3 日間、大阪医療センターで開催された『平成 31 年度新採用職員(コ・メディカル、事務部門)研修』に参加させて頂きました。この研修での講義やグループワークを通して、医療人としての薬剤師についてだけではなく、チーム医療での薬剤師の役割、他の職種の業務内容・役割、国立病院機構職員に求められること、社会人としてのマナーなどについて学ばせて頂きました。

1 日目には部門別研修があり、薬剤師を取り巻く環境と医療の動向や医療人としての薬剤師、医療安全、チーム医療などの講義がありました。また、午後のグループワークでは糖尿病患者さんの症例に対して問題を抽出し、どのように問題を解決していくかを話し合いました。私たちの班では視力障害によりインスリン注射を適切に使用できていないことや患者さんが人生に対して後ろ向きな考えをしていることを問題に上げました。この問題点に対して混合型二相性のインスリンに変える、家族の理解と協力を得る、患者さんの話を聞くなどの解決策が出ました。問題の抽出はすぐにできたのですが、問題の分類・整理することが難しく手間取ってしまいました。先生方の解説を聞くことで、私たちが抽出できなかった問題や薬が処方されている理由などに気づくことができました。これから病棟業務を行っていくうえで、薬剤管理指導記録の書き方を身に付けていきたいです。

2 日目には各部門の業務内容紹介がありました。実際に他職種の業務内容を知らなかったのも、この研修で知ることができました。他職種の方がどのような業務を行っているかを知り、互いを理解しあうことで、多職種の連携が取りやすくなり、より良いチーム医療を行うことができると感じました。

3 日目には班別討議や接遇・コミュニケーション研修がありました。班別討議では私たちの班は「上司・部下・他部門等と良好な関係を築くには」という議題について問題点を抽出し、改善策の検討を行いました。毎日のあいさつをしっかりと、報告連絡相談を欠かさずに行う、お互いの立場を理解して謙虚な気持ちで接する、他部門の業務を理解するなどの意見が出ました。普段かかわることの少ない職種の方と意見交換し、新しい視点からの意見もたくさん聞くことができたので、貴重な時間になりました。接遇・コミュニケーション研修では身だしなみや名刺交換の仕方、電話対応などのビジネスマナーを講義やグループワークで学びました。今まで学ぶ機会が少なかった社会人として知っておかなければならないことを学ぶことができました。身だしなみや電話対応など普段の業務に活かせると感じたので実践していきたいです。

今回の 3 日間の研修を通して、薬剤師として必要な基本的な知識や社会人としての基本的なスキルを学ぶことができました。また、他職種の方と交流することで他職種の業務について知ることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

この研修で学んだことを活かし薬剤師として、社会人として成長していきたいです。最後になりますが、この3日間、研修を主催してくださった先生方、講義をしてくださった先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

新採用者紹介

名前：清水 宏太郎

施設名：大阪医療センター

出身大学：大阪薬科大学

座右の銘：初志貫徹

抱負：四月より大阪医療センターに入職いたしました清水宏太郎と申します。まだまだ慣れないことが多く、周りの先生方に助けをもらいながら明るく元気よくをモットーに日々の業務を頑張っています。将来は患者さんや周りの医療スタッフに信頼される薬剤師になることが目標です。どうぞよろしくお願い致します。

名前：檜本 佳代

施設名：大阪医療センター

出身大学：神戸薬科大学

座右の銘：継続は力なり

抱負：四月より大阪医療センターに配属になりました檜本佳代です。まだまだ至らない点が多く先輩方のご指導のもと日々学ばせていただいています。失敗から多くを学び目の前の業務にしっかり取り組み、一人前の薬剤師になれるよう努力していこうと思います。今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

名前：高橋 弘季

施設名：神戸医療センター

出身大学：兵庫医療大学

座右の銘：明日は明日の風が吹く

抱負：五月から神戸医療センターに入職しました高橋弘季です。周りの先生方から、さまざまなことを教わりながら、業務に慣れていく日々を送っています。これからは、患者さんやほかの医療従事者に信頼してもらえるような薬剤師になりたいと考えております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

名前：團野 優華

施設名：神戸医療センター

出身大学：神戸薬科大学

座右の銘：「見逃し三振より、空振り三振」

抱負：四月から神戸医療センターに配属となりました團野優華です。まだまだ慣れないことばかりでご迷惑をおかけしていますが、早く戦力となれるように精一杯頑張りたいと思います。これからもどうぞよろしくお願い致します。

名前：山下 裕介

施設名：東近江総合医療センター

出身大学：摂南大学

座右の銘：清濁併呑

抱負：四月より東近江総合医療センターに配属となりました山下裕介と申します。仕事を始めて一カ月ほどたちますが毎日わからないことだらけで先輩の先生方には大変お世話になっております。社会人としても薬剤師としてもとても未熟な私ですができる限り早く一人前となり、自分の持ち味を生かして病院並びに患者様に貢献できる薬剤師になれるよう精一杯努力してまいりますのでご指導のほどよろしく申し上げます。

名前：古川 歩実

施設名：宇多野病院

出身大学：京都薬科大学

座右の銘：天上天下唯我独尊

抱負：四月より宇多野病院に配属となりました古川歩実と申します。一ヶ月が経ち、当初に比べれば出来ることが増えてきたと思いますが、まだまだ周りの先生方を頼る場面も多く、学ぶことが多いと実感しています。これからも一つ一つ出来ることを増やし、いずれは一つの軸を持ったジェネラリストとして、他職種とコミュニケーションを取りながら患者さんによりよい医療を提供できるような薬剤師になりたいと思っています。日々勉強し、身に付けていきたいと思いますのでご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

名前：松岡 賢

施設名：敦賀医療センター

出身大学：摂南大学

座右の銘：「聞くは一時の恥 聞かぬは一生の恥」

抱負：四月より敦賀医療センターに配属されました松岡賢と申します。入職してから一か月たち、まだまだわからないことだらけですが、先輩方に追いつけるよう日々精進しています。さまざまな研修にも積極的に参加するようにしています。また、初めての一人暮らしで最初は家事に振り回されていましたが、最近は料理にはまり、電子レンジのグリル機能を使い様々な食材をグリルにしています。電子レンジのグリル機能の素晴らしさをもっと広めていきたいと思っているのが私の小さな野望です。

名前：鴨田 夏実

施設名：大阪南医療センター

出身大学：武庫川女子大学

座右の銘：「一期一会」

抱負：4月から大阪南医療センターに配属になりました鴨田夏実です。まだまだ至らない点や分からないことも多く、ご迷惑をおかけしておりますが、周りの先生方にご指導いただき、日々学ばせていただいております。少しでも早く患者様や他の医療従事者の方々から信頼される薬剤師になれるよう、1つ1つの業務を全力で頑張っていきたいと思っております。

ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

名前：吉井 美帆

施設名：国立循環器病研究センター

出身大学：大阪薬科大学

座右の銘：人に優しく

抱負：4月に国立循環器病研究センターに入職いたしました、吉井美帆です。少しでも早く戦力となれるよう、様々なことに挑戦し、薬剤師として、また人として成長できればと思っております。

ご迷惑おかけすることが多々あると思いますが、精一杯頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

名前：小畑 光治

施設名：国立循環器病研究センター

出身大学：近畿大学

座右の銘：諦めないやつが最強

抱負：今年、近畿大学を卒業し、循環器病研究センターに入職させていただきました、小畑光治です。業務を覚えることで精一杯の日々が続いていますが、いち早く戦力となれるよう日々精進するのでよろしくお祈いします。循環器疾患の圧倒的な知識をつけられるように頑張ります。

名前：江島 怜那

施設名：京都医療センター

出身大学：大阪薬科大学

座右の銘：蒔かぬ種は生えぬ

抱負：初めまして。このたび京都医療センターに配属となりました、江島怜那と申します。まだまだ至らぬ点が多々あり、先生方にはご迷惑をおかけしておりますが一日でも早く薬剤師として胸を張れるよう失敗を恐れず、様々なことにチャレンジして成長したいと思っております。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

名前：松村 亜耶

施設名：近畿中央呼吸器センター

出身大学：同志社女子大学

座右の銘：一期一会

抱負：4月より近畿中央呼吸器センターに配属になりました松村亜耶と申します。まだまだ分からないことが多く先生方にご指導いただきながら日々業務や勉強に励んでいます。

1日でも早く患者さんや医療従事者から頼りにされる薬剤師になれるよう頑張りますので、ご迷惑をおかけすることも多々あるかもしれませんが、今後ともご指導よろしくお願い致します。

名前：西田 神奈

施設名：大阪刀根山医療センター

出身大学：神戸学院大学

座右の銘：継続は力なり

抱負：4月から大阪刀根山医療センターに配属になりました西田神奈と申します。

まだまだ分からないことが多く、先生方にはご迷惑をおかけしてまいながらも日々の業務に精一杯取り組んでおります。どんなことにも積極的に取り組み日々成長していきたいと思っております。至らない点も多いですが、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

名前：安宅 菜月

施設名：南和歌山医療センター

出身大学：徳島文理大学

座右の銘：失敗は成功の母

抱負：今年の四月より南和歌山医療センターに入職しました安宅菜月です。病院薬剤師として働き始め、約1か月半が経ちますが、まだまだ至らない点が多いながらも、先輩方に温かく指導をしていただきながら、日々の業務に励んでおります。少しでも早く、薬剤部の一員として、これからの医療に貢献していけるよう頑張りたいと思います。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導のほどよろしく願いいたします。

趣味のページ ～あわらは福井の北海道～

敦賀医療センター 山本友佳子

ペルル、オルフェ、マルセイユ。

皆様はこれらのカタカナが何を表すかご存知でしょうか。

申し遅れましたが、敦賀医療センターの山本と申します。国立循環器病研究センターの高野先生からバトンを引き継ぎました。生まれも育ちも大阪、いわゆるシティーガールでしたが就職を機に福井へ引っ越し、今年度で3年目です。趣味といえば食べるくらいしか思いつかなかったもので、今回は福井へ来て最もハマった食べ物について書かせていただこうと思います。

そろそろお気づきの先生方もいらっしゃるかと思いますが、冒頭のカタカナはメロンの銘柄です。大阪に住んでいた時からメロンは好きでしたが、メロンの種類について考えたことはありませんでした。地元のスーパーマーケットにいても、せいぜい“〇〇産”と書かれている程度しか記憶にありません。

メロンは、職場の先輩と一緒にあわら市の「JA 花咲ふくい ファーマーズマーケットきららの丘」へ買いに行きます。集合時間は病院に7時ですがだいたい誰かが寝坊して7時は過ぎます。それでも仕事の時より格段に早いです。あわらまでは車で1時間半(下道です、高速は使いません、あまり所要時間が変わらないように思います。)なので、お店につくのは8時半過ぎですが、すでに地元のおじいちゃんおばあちゃんが並んでいます。9時にお店が開店すると、おじいちゃんおばあちゃんが普段からは想像できないスピードでメロンに吸い寄せられます。メロンの吸引力は凄まじいです。職場の先輩もメロン争奪戦に参加していますが、私は勝てそうにないので落ち着いたころにメロンコーナーへ向かいます。

メロンは銘柄ごとに味が全く違っていて、私はペルルが至高だと思うのですが、福井名産マルセイユ派や、強硬なオルフェ派もいます。しかし結局どのメロンも最高なので、業者ばりに買い込んだメロンは職場に持っていき、サイコロ状に切ったのち分け合います。最終的に6月から7月にかけては休憩中に永遠にメロンを食べることになります。飽きるほどメロンを食べたのにもかかわらず、なぜか追加で買いに行ったり、北海道から取り寄せたりもします。全く、とんでもないメロン狂が集う職場に来てしまったものです。

ここまで書いて気が付きましたが、おそらく買う過程も含めてメロンが好きなんだと思います。福井に来るまでは季節の果物にそんなに興味がなかったもので、四季のすばらしさに気づかせてくれた患者さんを含めた敦賀の皆様がこの場をお借りして感謝を伝えたいと思います。本当にありがとうございます。今年もメロンを買いに行きます。帰りは足湯につかり、牧場でソフトクリームを食べます。皆様もぜひ一度福井に足をお運びください。

次は南京都病院の桑原先生にお願いしています。同じ8月生まれということで、神戸医療センターの櫻井先生も交えて2年連続お誕生日会を開催しています。特に何も言わなくてもそこにいるだけでおもしろい存在ですので、次回の趣味のページも大変楽しみにしています。よろしくお祈りします！

編集後記

年度始めでスタッフの入れ替わりが多い中、かつ今年は初めての十連休とどこの施設も忙しい中、今号も多くの先生方に原稿執筆にご協力頂きありがとうございました。

5月というのに夏日という気候の中、編集を行っています。体調管理には皆様ご留意ください。

元号が変わったり、怪我から大谷選手が復活したり、大相撲夏場所で平幕の朝乃山が優勝したりとおめでたい話題が続いています。近畿国立病院薬剤師会でも新採用者の皆さんと共に、おめでたい話題を提供できればと考えています。今年度もよろしくお願ひ申し上げます。

(T.K.)

近畿国立病院薬剤師会会誌
発行元 近畿国立病院薬剤師会事務局
(独立行政法人国立病院機構京都医療センター薬剤部内)

第五十八号 令和元年5月発行
京都市伏見区深草向畑町1-1

発行人 会長 本田 芳久(京都医療)

編集 広報担当理事 山下 大輔(京都医療)
広報委員 小田 亮介(国立循環器病研究センター)
藤原 佐知子(宇多野病院)
喜田 孝史(京都医療)
中西 剛志(姫路医療)